



大出区安全安心なまちづくり

推進協議会だより



令和 2 年 12 月 第 23 号

箕輪町防災士連絡会、避難所開設・運営訓練として

日本赤十字社長野県支部作成の「ひなた」を学習

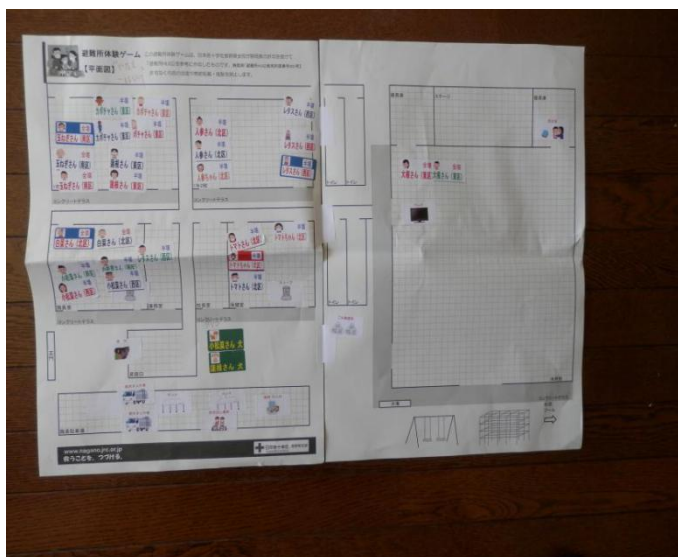
11 月 27 日夕方、箕輪町役場講堂で開催した第 21 回箕輪町防災士連絡会で、新入会員 6 名の紹介、報告として活動状況と活動計画(案)、防災士会の緊急連絡体制、避難勧告と避難指示の一本化予定等が伝達された後、赤十字奉仕団長野県支部委員会福島副委員長ほか 2 名(辰野、南箕輪居住)の指導員から、日本赤十字社長野県支部が作成した避難所体験ゲーム「ひなた」により学習を行いました。

活用した避難所体験ゲームは重要性から日本赤十字社長野県支部が静岡県内の許可を受けて「避難所 HUG」を参考に作成したもので、許可なく内容の改変や無断転載複製が禁じられており、今まで活用した難所運営ゲーム(HUG)を使いやすくしたものという感じです。

ただ、活用図面を地元の公民館バージョンにすることは許可面で難しい点もあるようで、静岡県地震防災センターHP では HUG について

「(ゲームをより本格的にするために)地元の自主防災組織のメンバーで体験会を実施する場合は、できるだけ実際に使う避難所の敷地図、間取図を用意し、教室名も実際のものを使いましょう。」

と記載されていることから、図面活用については今後とも研究を続けたいと考えます。



避難所体験ゲームに
使用した図面